

Opening a NEW ERA

魅力ある未来に向け、
皆さまとともに歩みを進めてまいります

平素より八十二グループの経営に対し、格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

2026年1月に長野銀行との合併を完了して迎えた本事業年度は、「八十二長野銀行」を中核とする八十二グループが新たな歩みを開始する節目の年となりました。グループ役職員が一体となり、皆さまに新しい価値をお届けすることで、地域社会への貢献をさらに深化させてまいります。

この節目にあたり、両行が培ってきたDNAや想いを継承し、私たちの使命と存在意義を明確にした八十二グループ経営理念（パーパス）を策定しました。地域におけるリーディングカンパニーとして地域課題に真正面から向き合い、持続的な成長に貢献することで、企業価値の向上を図ってまいります。

八十二グループでは、長期ビジョン2035「魅力ある未来

を地域と共に創る」を掲げ、10年後の地域社会を見据えた経営を展開しています。2028年度までを計画期間とする第1次中期経営計画に基づき、地域が抱えるさまざまな課題を解決できるよう、総合コンサルティング支援体制の確立に取り組んでまいります。

2026年6月より、松下正樹が取締役会長 会長執行役員に、樋代章平が代表取締役頭取 頭取執行役員に就任し、新たな経営体制が発足しました。パーパスおよび長期ビジョンに基づき、経営の連続性と変革の両立を図ってまいります。

本統合報告書を通じて、私たちの考え方と目指す方向性について、ご理解を深めていただければ幸いです。

今後とも、皆さまのご期待に応えるべく、企業価値の持続的な向上に取り組んでまいります。引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

取締役会長 会長執行役員 松下 正樹

代表取締役頭取 頭取執行役員 樋代 章平

八十二グループ
経営理念体系PURPOSE/MISSION
存在意義・使命VISION
ありたい姿VALUE
価値観・行動指針存在意義・使命
PURPOSE/MISSION
経営理念ありたい姿
VISION
長期ビジョン2035価値観・行動指針
VALUE
長期人事方針 求められる人材像

コンプライアンス宣言

存在意義・ありたい姿・行動の基盤となる考え方を体系化した“思考の土台”です

健全経営を堅持し、もって地域社会の発展に寄与する

八十二グループは、地域におけるリーディングカンパニーとして、地域の課題に真正面から向き合い、地域社会と世界をつなぐ架け橋となり、地域の持続的な成長を実現します。また、適切なリスク管理に裏付けられた収益性の確立と盤石な財務基盤の維持発展を通じて、地域社会・お客さま・株主さま・従業員の幸福と繁栄に貢献します。

魅力ある未来を地域と共に創る

「強みの確立」「進取の精神」「自ら考え行動する」

「信頼に値する経営と業務遂行」「よき社会人としての行動」

八十二長野銀行 統合報告書2026 読者ガイダンス

邦銀トップクラスの強固な財務基盤を築き上げてきた「健全経営」と、
地方銀行界初を次々と切り拓いてきた「進取の精神」。
この『守り』と『攻め』のDNAがいかに生まれ、融合し、
地域を支えてきたのか、その歴史を紐解きます。

I

Our Value Creation History

私たちはどのように価値を創造してきたのか

Introduction

- 1 Opening a NEW ERA
- 2 八十二グループの経営理念体系
- 3 読者ガイダンス
- 4 目次

- 5 八十二グループのプロフィール
- 7 At a Glance 数字で見る、八十二長野銀行のいま
- 9 八十二長野銀行のDNA 健全×進取
- 11 八十二長野銀行のMarket 深耕×拡大
- 13 八十二長野銀行のBusiness 伝統×革新
- 15 価値創造を支える資本

人口減少等の課題に対し「総合コンサルティンググループ」への飛躍を掲げる
トップの強い覚悟を表明します。
長期ビジョン2035の実現に向けた価値創造プロセスと、
規律ある資本配分による持続的な企業価値向上への道筋を示します。

II

The Will

私たちは何をを目指すのか

- 17 頭取メッセージ 「お役に立ちたい」という思いを原動力に
- 25 八十二グループの価値創造プロセス
- 27 八十二グループ「長期ビジョン2035」と第1次中期経営計画の位置づけ
- 29 八十二グループ「第1次中期経営計画」
- 31 八十二グループ マテリアリティ
- 33 企業価値向上～PBR向上・ROE改善に向けて～
- 35 財務担当役員メッセージ

法人・個人・地域・市場運用の各ビジネス、戦略的投資や経営計画と連動した人材配置など、
地域課題解決と収益拡大を両立させる確かな施策と体制整備の状況を示します。

III

Our Strategy for Growth

どのように実現するのか

- 43 法人ビジネス
- 45 リテールビジネス（個人）
- 47 地域ビジネス
- 49 市場運用ビジネス
- 51 企業価値向上戦略
- 53 人事部長メッセージ
- 55 人的資本戦略
- 63 社外取締役座談会

実効性の高いコーポレートガバナンスやリスク管理体制、
気候変動・人権などのサステナビリティへの取組みを通じ、
経営の透明性と健全性を担保する当行の姿勢を詳しく解説します。

IV

Governance & Foundation

どのように持続性を担保するか

- 69 コーポレートガバナンス
- 79 リスク管理体制
- 81 サイバーセキュリティへの取組み
- 83 サステナビリティ
- 93 地域社会・お客さまとのエンゲージメント
- 95 法令遵守・お客さま保護体制
- 96 金融犯罪未然防止への取組み

Appendix

- 97 データセクション

編集方針
IFRS財団の「国際統合報告フレームワーク」を参考に、財務
情報と経営理念・経営計画・ESG情報（環境・社会・ガバナ
ンス）などの非財務情報を統合的に編集しています。

●報告対象
期間：2025年4月～2026年3月
（一部、2026年4月以降の情報を含みます）
範囲：八十二長野銀行および子会社・関連会社

●発行時期
2026年7月

見通しに関するご注意
本報告書には将来の業績に係る記述が含まれていますが、こ
れらの記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスク
や不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境
の変化等により異なる可能性があることにご留意ください。

別冊のご案内
銀行法施行規則第19条の2第1項および同第19条の3各号に定められた指標等、同第19条の2第1項第5号二等の規定に基づき2014年金融庁告示第7号に定められた自己資本の充実の状況、ならびに同第19条の2第1項第6号等の規定に基づき2012年金融庁告示第21号に定められた報酬等に関する開示事項等については、別冊を作成しています。別冊は、八十二長野銀行ホームページに掲載しています。
●本資料に掲載してある計数は、原則として単位未満を切り捨てのうえ表示しています。
●国内業務部門は国内店の円建取引、国際業務部門は国内店の外貨建取引および海外店の取引です。ただし、円建対非居住者取引、特別国際金融取引勘定分等は国際業務部門に含めています。